

令和7年3月14日

会員各位

北海道医療大学歯学部同窓会
北海道支部連合会 会長 佐藤 明理
学術部常任理事 久保田博信

教授就任記念学術講演会のご案内（訂正）

**演 題 「超高齢社会における歯周治療
:若さと健康を保つためにできること」**

講師：長澤 敏行 先生（北海道医療大学歯学部歯周歯内治療学分野 教授）

■日時 令和7年5月10日（土）午後5時～午後7時

■会場 北海道医療大学サテライトキャンパス
定員 50名

Web Zoom ウェビナーを使用

（カメラは必要ありません。音声でのご質問予定の方以外はマイクの必要もありません）

■締切 4月24日（木）

■参加費 無料 ■参加資格 令和6年度会費納入者

お申込み URL <https://forms.gle/Cz9bnWMnthehWSkm8>



お問合せ先 TEL(011)788-4509 FAX(011)788-4809
E-mail do-rengo@theia.ocn.ne.jp

参加方法 会場 Web(Zoom ウェビナー)(どちらかにを入れてください)

お名前： _____ (ふりがな) _____ 卒業期 () 期

TEL () _____ 勤務先名： _____

受講用メールアドレス _____

(Zoom を視聴するアドレス)

このアドレスをメール登録します

～質問がございましたらご記入ください～

「超高齢社会における歯周治療:若さと健康を保つためにできること」

<抄 録>

超高齢社会を迎え、北海道の65歳以上の人口の割合（高齢化率）は2020年の時点で32.1%に達し、今後もさらに上昇が続くと予想されています。8020運動などによって歯を有する高齢者が増えている一方で、残っている歯の多くが歯周炎に罹患していることも問題になっています。また歯周炎などによって露出した歯根面のう蝕も問題となっており、う蝕治療ガイドラインの第3版においては根面う蝕への対応が取りまとめられています。また高齢者では糖尿病や心臓血管疾患の有病率が上昇しています。これらを考え合わせたときに、どのような治療が患者さんにとって最良であるか対応に苦慮することも少なくありません。一方で老化に伴う歯周組織の破壊や、糖尿病などの全身疾患が与える影響などについて多くの研究結果が報告されており、臨床への応用が期待されています。本講演では46歳の慢性歯周炎患者(Type4, Grade C)の15年間の治療経過を中心に若さを維持するための歯周治療について考えたいと思います。また歯周病と関連する代表的な全身疾患として糖尿病に関しては、歯周治療によって糖尿病患者のHbA1cが改善することは良く知られるようになりました。しかし網膜症、腎症、神経障害などの細小血管障害や心筋梗塞や脳梗塞などの大血管障害に対する予防効果については十分に明らかになっていません。歯周歯内治療学分野の先生方を中心にまとめたNature/Springer社の教科書であるAdvances in Experimental Medicine and Biologyに掲載予定の糖尿病患者の歯周治療について記載した内容を中心に、健康を維持するための歯周治療について紹介したいと思います。

略歴

昭和63年3月 東北大学歯学部卒業
昭和63年4月 東京医科歯科大学 大学院入学
平成4年3月 東京医科歯科大学歯学部大学院修了
平成6年4月 東京医科歯科大学歯学部歯科保存学第2講座助手
平成8年3月～8月 文部省在外研究員
ボストン フォーサイスデンタルセンター
平成21年3月 北海道医療大学 歯学部 歯周歯内治療学分野 准教授
平成26年4月～10月 北海道医療大学 個体差健康科学研究所 准教授
平成26年11月～ 北海道医療大学 歯学部 臨床教育管理運営分野 教授
令和5年4月～ 北海道医療大学 歯学部 歯周歯内治療学分野 教授

※詳細は連合会 HP 各部だより 学術部 にも掲載しております。
https://iryodai-dorengo.com/katudou_gakujutu.html